

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
政治史（政治過程論を含む）	長澤 高明	講義	2		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	欧米の政治史を縦軸とし、それらが日本に与えた影響を横軸として考察します。なるべく私が一方的に喋るという形はとらずに、皆さんと対話しながら講義を進めたいと思います。 近代国民国家といわれる国家形態がどのようにして成立したのか、議会制民主主義がどのような経緯でもって確立してきたのか、欧米の政治史を学ぶことで日本のそれも理解できるようになっています。						
到達目標	欧米の政治史についての基礎知識を身に着ける。それらと日本の政治史とを関連付けて理解できるようになる。どのような道を経て、今私たちがここに立っているかを理解できるようになる。						
回	学習内容						
1	オリエンテーション。主権国家と国民国家の違いについて。						
2	主権国家といわれるものがどのようにして成立したか。						
3	イギリスとフランスの市民革命の持つ意味。アメリカ独立戦争の持つ意味。						
4	フランス革命の持つ意味とその反動としてのウイーン体制。						
5	ドイツのビスマルク体制と明治期日本の関係。						
6	植民地帝国主義とは何か。ヨーロッパ列強はなぜアジア・アフリカ・南米に進出したのか。						
7	第一次世界大戦の勃発と各国の思惑。英米仏の行動と日本の行動						
8	第一次世界大戦から第二次世界大戦へ。ベルサイユ体制とファシズムの台頭。						
9	第二次世界大戦の様相。日独伊を中心に。						
10	冷戦体制（1） 第二次世界大戦後の世界。独立国と中国の政治史。						
11	冷戦体制（2） 冷戦下の韓国とインドの政治史。						
12	冷戦期の年表を使って、あらためて流れを整理する。						
13	冷戦の終結と民族紛争。民族紛争はなぜ生じたのか。						
14	EU の歴史。新しい「国家」の出現						
15	EU の持つ問題。EU と日本。						
予習内容 復習内容	予習：高校時代の参考書や地図帳があれば、それを使用して、次回の内容の大まかな見取り図をあらかじめ頭に入れておいてください。 復習：レジュメに講義内容を書きこんで置いて、再度、流れを整理しておいてください。						
教科書	使用しません。毎回、レジュメを配付します。						
成績評価	毎回出席をとります。出席が三分の二に満たない場合は評価対象とはしません。 積極的な態度（30%）、小テスト2回（20%）、レポート（50%）。						
その他 特記事項	これまで歴史科目を履修したことのない受講生もいるはずなので、基礎知識を確認しながら講義を進めます。						